

退院支援研修①

◆テーマ：平成30年度診療報酬・介護報酬W改定
～医療・介護の連携を考える～

◇内容・講師：退院支援に関わる診療報酬の改定について

友松裕子氏（名古屋記念病院）

退院支援に関わる介護報酬の改定について

加藤圭子氏（ハートフルハウス居宅介護支援事業所）

入退院時における医療・介護の連携

～一宮地域での仕組みづくりに関わって～

長尾貴子氏（総合大雄会病院）

グループワーク

退院支援におけるMSWの地域での役割について考える

◇研修日：平成30年9月21日（日） 13:30～16:40

◇会場：ウイंकあいち 1104 会議室

◇参加人数：28名

◇アンケート コメント紹介◇

- ・3月31日報酬改定の研修と合わせて参加させていただいたが、細かい所は理解できていない。理解していない事には他職種や外部へも訴えていけない。きちんと理解できるよう勉強しなくては、と思いました。
- ・それぞれの病院の取り組みについて知る事が出来た。どの病院も地域に目を向け、選ばれる病院を目指していることを知り、私もその視点を意識したいと思いました。
- ・グループワークでは、同じ急性期病院でも地域の特性によって、MSWの活動方法が異なるな…と思いました。自分なりに頑張っているつもりですが、今日のグループワークを受けて、自分の業務など振り返りたいと思います。
- ・他の地域の状況を知ること、気付くものがありました。また、来週から頑張ろうと思います。
- ・実践報告だけでなく、法制度の事なども振り返る事が出来て良かった。グループワークと座学の両方があるところが良い



☆コメントにもありますが、参加された方からグループワークについてよい評価をおおくりいただきました。

退院支援研修②にむけて

委員長 澤田 昭宏

今年度の退院支援研修①では退院支援に関しての改定内容の確認、MSWが患者・家族の思いを大切にして退院支援を行っていくためにも、地域のシステム作りに関与していくことが大切であることを学びました。

11月24日（土）に行われる退院支援研修②では、「MSWの価値をふまえた退院支援～困難事例を通してMSWの専門性を深めよう～」と題しまして、まず講義でチームで行う意思決定支援にMSWがどのように関わることが大切か学びます。実践的事例検討においては「夫婦ともにがんの末期の方の退院支援～あなたならどうする～」というテーマで、退院支援を行うにあたり医療福祉それぞれの面で必要なアセスメントについて理解を深め、学びを共有したいと考えております。